



# あつぎ・森の里九条の会

2023年7月

～今を新たな戦前にさせない～

結成：2009年

代表：平川高人 電話：090-3338-7027 編集：事務局/今村考三 046-248-0632

## 例会

### 8月27日（日）

### 10：00～12：00

### 森の里公民館3F会議室

#### 懇談会

9条改憲、原発、ウクライナ侵略戦争、物価高、地域の問題などについて話し合い、共感し合いませんか。

#### 生命の星・地球博物館見学のお知らせ

月日：9月10日（日）

集合時刻：8：00

集合場所：森の里公民館前

持ち物：入館料100円 電車代

（駐車場代は実費を人数割り）

昼食：博物館内レストラン

博物館所在地：小田原市入生田499

博物館電話：0465-21-1515

公民館到着予定時刻：16：30頃

※愛甲石田駅までは車で行きます。

申し込み締め切り：9月1（金）

参加希望者は平川までご連絡ください。

（18時以降）



「9条改憲、原発、ウクライナ侵略戦争、物価高、地域の問題などについて話し合いませんか？」

7月2日（日）

今月の例会は2000年12月に放送された、NHK「シリーズ太平洋戦争と日本人」一兵士の従軍日記「祖父の戦争を知る」を見て、戦争について考えました。

日中戦争前夜から太平洋戦争終結まで、延べ6年間に及んだ戦争体験。それは兵士としての責務を担わされた、一人の農民の心の葛藤の日々でもあった。

日記を書いたのは山本武さん。福井県の農家の長男として生まれた武さんは、戦場で日記を書き続けた。そこからは一人の善良な農民が、苛烈な戦場の中で、平然と

人を殺せる兵士へと変わっていく姿が浮かび上がってくる。武さんの日記と手記は、やがて子や孫たちに読まれていく。

▼子や孫が口をそろえて、「あのおじいちゃんが人を殺したなどと言うことは信じられない。」と言っていた。

▼武さんが「ああ戦争はいやだ。」と言っていたが、先日のNHKス

ペシャルで、沖縄戦に従軍した元アメリカ兵も、自分がしたことを非常に後悔していた。

▼日常生活を続けているところで戦わなければならない。互いに人生が変わってしまう。

▼今ほどのアニメも戦いを描いている。洗脳されてしまうと思った。

▼最低限の軍備が必要だと言うが、石垣島など南西諸島が戦争になったとき、最前線になる。

▼かつて沖縄の屋良朝苗知事が、基地を減らしてほしいと東京に要望に来たとき、何をしに来たんだと、人々が罵詈雑言を浴びせていた。

▼今の戦争はミサイルやドローンで攻撃している。ロボットがやっている感じで生々しくない。そういうところが報道されていない。戦争の悲惨さをもっと知らせる必要がある。

▼武器輸出三原則を骨抜きにして、戦争の準備を着々と進めている。

▼長崎と広島の話伝え続けなければならぬ。

▼原発の研究は原爆の研究そのものだ。

▼ウクライナのザポリージャ原発で、ロシア側のダイバーが冷却水のタンクの中に潜り、何かを仕掛けたようだ。地元メディアが伝えたようだ。原子炉でなくても冷

#### スタンディングと署名活動のお知らせ

日時：8月20日（日）10：00～11：00

場所：スーパー三和前

★どなたでもお気軽に参加大歓迎です。

★手作りの表示板の用意あります。

例)「キンダ政治を許さない！」

「9条壊すな！」

「NO WAR！」

「大軍拡・大増税反対！」

却水のバルブを破壊すれば、大変な事態になる。

▼サイバー攻撃への対処能力を強化するため、「通信の秘密保護」制限を政府が検討している。来年閣連法改正を狙うと、6月24日の朝日新聞が報じていた。今は戦時体制下にあると思う。

ありがとうございました

6月18日のスーパー三和前のスタンディングでは、年配の方が「戦争はいけない。もつと若い人がね……」と言いながら、「あつぎ・九条の会7月号」を受け取ってくさいました。赤ちゃんを連れられたお母さんや、買い物を終え帰りを急ぐ人にも、もらっていたいただきました。当日は人出が少なめでしたが、用意した120部のうち77部を受け取っていただけでした。「大軍拡NO！大増税NO！」の署名は22人の方に協力いただきました。どうもありがとうございました。

## 読者の広場



鈍感になっては危険

私は毎朝、TBSラジオ「森本毅郎スタンバイ！」を聞いています。コメントーターと森本さんがニュースを掘り下げ、問題点をはつきり指摘するところがいい。政府の広報機関のよ

うなNHKとは違います。7月6日(木)は、リスナーからのメール紹介コーナーで、「国会は追認機関だ。」「小選挙区制は問題だ。」等々のメールが紹介されました。私と全く同じ考えだったので驚きました。

安倍元首相銃撃事件から7月8日で1年です。TBS土曜日放送の「報道特集」は、旧統一教会の信者や関係者にインタビューし、事件や旧統一教会と政治の関係について、詳しく伝えていました。

今年5月、都内で開かれた改憲集会に、教団側が多数の信者を動員しました。自民党を中心とした、超党派の議員らからなる新憲法制定議員同盟主催の集会です。岸田首相の他、公明党北側、日本維新の会馬場、国民民主党玉木の各党代表も出席し、挨拶しました。

来賓として出席した岸田首相は、「憲法改正に強い思いを持って挑戦していかなければならない。」と挨拶しました。いつもながら、総理大臣が先頭に立って憲法を改正しようと訴えることに、大きな疑問を感じます。憲法第99条の、憲法尊重擁護の義務を知らないかのようにです。

第99条については、報道各社もほとんど追及していません。安倍元首相や岸田首相があまりにも堂々と、何度も憲法改正を主張するので、大臣も国会議員も憲法を尊重擁護しなくてもよい。そのように誰もが、無意識のうちに思い込んでしまっているように見えてしまいます。憲法改悪の動きが加速しています。鈍感になっ

ては危険です。

また自民党の政策と旧統一教会の関わりを知る、旧統一教会最古幹部によると、教団関係の学者グループが40年以上、教育や憲法改正、防衛費などについて政策提言を行い、受け入れられたこともあったそうです。例えば、防衛費GNP比1%枠撤廃提言を受けた中曽根内閣は、後に1%枠撤廃を表明しています。

改憲集会に旧統一教会関連団体が動員され、会場準備を手伝っていたことについて、岸田首相の事務所は番組の質問に、承知していないと回答しました。登壇した各党代表ら議員も、全員が信者動員の事実を知らなかったとの回答でした。

1年前、旧統一教会と関係があった大臣や議員については、今はもう特に大きく報道されていません。国民はすっかり忘れてしまっているように見えます。岸田首相は昨年、旧統一教会と関係を絶つと明言しましたが、モリ・カケ・サクラ・学術会議任命拒否問題のように、うやむやにしてはいけないと思います。しっかりと監視する必要があります。

「森本毅郎スタンバイ」は、コメントーターの時事通信山田恵資(けいすけ)さんが、銃撃事件後1年たっても安倍派はトップが決められないので、いざれ分裂する方向に向かっていくだろうと解説していました。また岸田首相は、安倍氏の遺志を継ぎ憲法改正、安定的な皇位継承の方策等の、国家的課題の解決に全力を挙げると安倍派にはつきり示し、今後も

同派からの支持を得ようとするだろうと見えています。そのため、所属する宏池会がリベラルだと言われているので、ついそこにごまかされてしまうが、安倍氏よりもつと保守的かもしれないとも見えています。

岸田首相はハト派的イメージがあり、首相就任当時は私も、内閣支持率が上がってしまうのではないかと思います。しかしその後の岸田首相は、政治姿勢が「聞く力」から「聞かない力」へ。原発政策大転換、9条改憲大加速、大増税に大軍拡、戦時体制着々と、いつの間にか超タカ派。あなたは岸田首相をどう見ますか。

KI

※事務局では皆さんからの一言を募集しています。身近なエピソードやつぶやき、森の里のトピックなど、何でもよいのでお寄せ下さい。先にお配りした葉書もご利用ください。



花菜ガーデン(平塚市)